

## 2022年度 東京外国語大学 言語文化学部卒業生に贈る言葉

今年度、言語文化学部からは305名の卒業生を送り出すこととなります。実は、コロナ禍が始まって以降、卒業者数には大きな変動がありました。例年だいたい370名程度の卒業生なのですが、コロナのはじまった2020年度の卒業生の数はともかくとして、その次の2021年度、つまり1年前の卒業式での卒業者数は約500人でした。この年の卒業生についていいますと、2017年度入学で留学を3年次秋学期スタートだった場合、半年経った時点でコロナのために帰国を余儀なくされました。また2018年度入学の学生の場合には、2年生の時に留学が承認されていても、2020年度は完全に留学がストップしてしまいました。これらのために、2021年度末に卒業が集中し、それによって言語文化学部の卒業者数が500人と大幅に増えていました。

そして今年度、2022年度の卒業者数は、はじめに申し上げたように305名と例年の370名程度と比べてかなり少ない数です。今年度卒業する人の多くは2018年度入学あるいは2019年度入学ですが、3年次での留学がそもそもできなかった2018年度入学の一定数の人たちが1年前にすでに卒業していることがこの数字に大きく影響していると思われます。2019年度入学者については、昨年2021年度に留学はある程度再開してはいたものの、渡航した人はコロナ前の半分強にとどまっていました。そのため、2019年度に入学した人で、4年で卒業する人の割合は、例年よりもかなり高めです。例年であれば4年で卒業する人は同じ学年の約3分の1程度、つまり残りの3分の2は留学等によって5年で卒業する人が多いということになるのですが、今年度は4年で卒業する人が同じ学年の約半数であることが特徴的でした。

少し詳しく具体的な数字を出してお話ししたのですが、申し上げたかったことは、東京外国語大学にとって、留学して日本の外の環境を経験するということが決定的に重要なことであって、それがこの数字に如実に反映しているということでした。コロナ禍のために人の動きが遮断されたということは、誰にとってももちろんそうではありますが、この東京外国語大学での学びにとっては決定的なことでした。

今年度卒業される方のうち、2018年度入学の人は、2年生の時に翌年の留学が決まっていたのにコロナのために留学が完全にストップし、そしてまた、一番充実しているはずの3年次でのゼミでの学びの時期が全面オンラインになってしまった、ということを経験しておられるでしょう。また、2019年度入学の人は、入学して2年目以降、コロナ禍の中での特別の体制の学びや学生生活を潜り抜けてきたこととなります。もっと前に入学した方々も、コロナ禍の学びと生活の中でようやくここまでたどりついたという思いをもっておられることでしょう。

こういった制約の中では、東京外国語大学で学ぶあいだに身につけることになっている力についても、いろいろ苦労があったと思います。

さきほど言語文化学部卒業生代表が卒業証書・学位記を受け取りました。他のみなさんにも、のちほどそれぞれの専攻言語に分かれて、この学位授与の証明書が手渡されます。この学位記は、みなさんが東京外国語大学・言語文化学部で学んで課程を修了したことにより、「学士（言

語・地域文化)」の学位が与えられたことを証明する大切な書類です。東京外国語大学では、「学位」を与えるということは同時に、次の5つの力をみなさんが身につけて社会に出てゆくということを証しするものでもあります。その5つの力とは、①「高度な言語運用能力」、②「日本や世界諸地域についての知識・教養」、③「現代社会を生きる力」、④「専門的な知識」、⑤「主体的に考え、行動し、発信する力」です。これは、東京外国語大学のディプロマ・ポリシーとして大学のHPでも掲げているものですので、またのちほどあらためて確認してみてください。学位記と同時に手渡されるディプロマサプリメントでも、この5つの能力と関連づけてみなさんの学びや活動が整理されていますので、そちらもあとでご覧ください。

これら5つの力のうち、①高度な言語運用能力、②専攻言語の地域や日本についての深い知識、④おもにゼミで身につけてゆく専門領域の知識や思考については、カリキュラムのうちに明示的に組み込まれているので修得したことがわかりやすく見てとれます。

それとともに、みなさんはこの東京外国語大学での学びの過程全体を通じて、言語・文化の境界をあたりまえのように越えた感覚で、③異なる文化・価値観の人たちと共に生きてゆくという意味での「現代社会を生きる力」、⑤多様な言語や文化的背景を当然の前提とした「思考力・行動力・発信力」を、自然なかたちで身につけているのではないかと思います。コロナ禍のために、残念ながら留学を断念した人も数多くいることでしょう。これらの力は留学によってさらに伸ばせていたでしょうが、それでもこの東京外国語大学で学んだみなさんには、多言語多文化の環境のなかで考え、行動し、発信する力を持ち、そしてその意味で、現代社会を生きる力を身につけているという点において、高いアドバンテージがあります。

コロナ禍によって、国際的な連携やコミュニケーションのあり方にもかなり大きな転換が生じました。また、ロシアによるウクライナ侵攻以降、世界はその様相を大きく転じつつあります。そのような世界のなかで、みなさん一人ひとりがご自分の力を発揮できることを、またその力をこれからさらに伸ばしてゆかれることを願って、みなさんへのお祝いの言葉とさせていただきます。

みなさん、ご卒業、ほんとうにおめでとうございます。

2023年3月24日 言語文化学部長 山口裕之